

清須市地域包括支援センター

■地域包括支援センターとは？

- ▶ 高齢者の方が住みなれた環境の中で暮らし続けるための総合相談窓口です。
- ▶ 主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー）、社会福祉士、保健師（経験のある看護師）などが中心となって、高齢者の支援を行います。
- ▶ 相談内容に関する秘密は堅く守ります。
- ▶ 相談は無料です。

介護や健康のこと

- ・介護予防プランをお願いしたい
- ・要介護認定の申請を頼みたい
- ・身体の機能に不安がある
- ・今の健康を維持したい など

権利を守ること

- ・悪質な訪問販売の被害にあった
- ・財産管理に自信がなくなった
- ・虐待かもしれない
- ・つい大声や手が出てしまう など

さまざまな相談ごと

- ・近所の一人暮らし高齢者が心配
- ・近所の認知症と思われる方が心配
- ・トイレに手すりを付けたり、高齢者が使いやすいお風呂のいすが欲しい。
- ・もうすぐ退院だが、家に帰ってからの生活が心配 など

暮らしやすい地域のために

高齢者が暮らしやすい地域づくりのために、医療機関や行政、その他の関連機関との連携体制を進めます。
また、地域のケアマネジャーが円滑に仕事ができるよう支援を行います。

お住まいの地区の包括支援センターにご相談ください。

名称（所在地）	お住まいの地区	
清須市地域包括支援センター ☎052-409-9010 一場古城604番地15 （清洲総合福祉センター内）	清洲	清洲、西田中、朝日、一場、西市場、廻間、土田、上条、新清洲、花水木、大嶋
	春日	春日全域
清須市地域包括支援センター さわやか ☎052-509-2270 西枇杷島町住吉1番地1 （にしびさわやかプラザ内）	西枇杷島	西枇杷島町全域 枇杷島駅前東
	新川	土器野、上河原、中河原、下河原、須ヶ口、須ヶ口駅前、萩野、桃栄、西堀江、阿原、西須ヶ口、東須ヶ口、寺野、助七、東外町、鍋片

認知症安心ガイド

認知症ケアパス



認知症とは？
若年性認知症について 1・2P

認知症の方
への対応 3・4P

認知症の方への支援
認知症チェック 5・6P

相談窓口
医療機関 7・8P

認知症ケアパス 9・10P

生活支援
サービス 11・12P

施設サービス
交流の場 13・14P

清須市地域
包括支援センター 15P

認知症は、脳の病気が原因で起こり、誰にでもなる可能性があります。85歳では約3割、90歳では約5割の人が認知症になっています。清須市では、認知症の理解を深め、「地域で支え合い、健やかに自分らしく安心して暮らせるまち」を推進しています。

お問合せ

●清須市役所

高齢福祉課介護予防係 ☎052-400-2911(代表)

発行:平成23年初版/令和7年改訂(引用・参考:認知症サポーター養成講座標準教材)

清 須 市

認知症とは？

●認知症ってなに？

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにさまざまな障害が起こり、生活するうえで支障がでている状態（およそ6か月以上継続）をいいます。

●認知症の原因疾患

認知症の原因となる病気には多くのものがあります。主なものは以下の4つです。

1. アルツハイマー型認知症

認知症をきたす病気の中で一番多い病気です。脳の神経細胞が少しずつ減少し、脳が萎縮し発症します。比較的早い段階から記憶障害、見当識障害のほか、不安・うつ状態・妄想が出やすくなります。

2. 脳血管性認知症

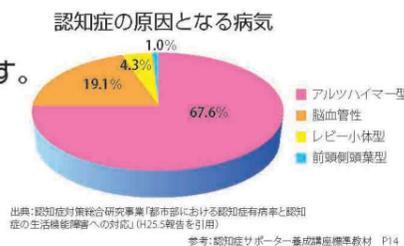
脳梗塞・脳出血・脳動脈硬化など、脳の血管が詰まったり破れたりすることで、その部分の脳の働きが悪くなり、意欲が低下したり、複雑な作業ができなくなったりします。

3. レビー小体型認知症

パーキンソン症状や幻視を伴い、症状の変動が大きいのが特徴です。

4. 前頭側頭型認知症（ピック病など）

前頭前野を中心に障害されるため、我慢したり思いやりなどの社会性を失い、「我が道を行く」行動をとる特徴があります。



●認知症の主な症状（中核症状）

1. もの忘れ（記憶障害）

新しいことが覚えられない、覚えていたはずの記憶を呼び起こすことができなくなります。認知症のもの忘れは、出来事そのものを忘れてしまうこと、ヒントがあっても思い出すことができないことが特徴です。

症状の例：食事をしたにもかかわらず「食べていない」と訴えるなど。

2. 見当識障害

今の時間、日付、場所、人間関係、季節など基本的な状況を把握することがむずかしくなります。

症状の例：今日は何月何日かわからない。近所で道に迷うなど。

3. 理解・判断力の障害

ものごとを考えたり、判断することに時間がかかります。また、同時に2つ以上のことを処理することがむずかしくなり、いつもと違うできごとが起こると混乱しやすくなります。

4. 実行機能障害

仕事や家事などの手順や計画が立てられなくなり、効率よく行うことがむずかしくなります。

症状の例：旅行の段取りが立てられない。料理ができなくなるなど。

周囲の環境や対応に影響して起こる症状（行動・心理症状）

■幻覚・妄想 ■意欲低下 ■徘徊（ひとり歩き） ■失禁 ■人格変化

加齢によるもの忘れと認知症の記憶障害との違い

加齢によるもの忘れ	認知症の記憶障害
経験したことが部分的に思い出せない	経験したこと全体を忘れている
目の前の人の名前が思い出せない	目の前の人が誰なのかわからない
物の置き場所を思い出せない	置き忘れ・紛失が頻繁にある
何を食べたか思い出せない	食べたことじたいを忘れている
約束をすっかり忘れてしまった	約束したことじたいを忘れている
物覚えが悪くなったように感じる	数分前の記憶が残らない
曜日や日付を間違える	月や季節を間違える

若年性認知症について

一人で悩まないで！認知症は高齢者だけの病気ではありません。

認知症は加齢とともに発症するリスクが高くなります。しかし、年齢が若くても発症することがあり、65歳未満で認知症を発症した場合、『若年性認知症』といいます。

働き盛りでの発症は、『配偶者』『子ども』『仕事』など、周囲に大きな影響を及ぼし、高齢者の認知症と比べ、周囲の人、家族も病気を理解し、受け入れるのに往々にして時間がかかります。

●本人やご家族が相談をしたいときは…

① 愛知県若年性認知症総合支援センター

☎0562-45-6207

月～土曜日（年末年始・祝日除く）

10時～15時

○電話、訪問、来所、メール・オンライン

相談も可能です。相談は無料です。

* 訪問・来所相談は事前予約制

* メールアドレス

aichi-jakunen@dcnet.gr.jp

② 若年性認知症コールセンター

☎0800-100-2707

月～土曜日（年末年始・祝日除く）

10時～15時

ただし水曜日のみ10時～19時

○電話・メール相談（匿名でも可）が

できます。相談は無料です。

* HP

<https://y-ninchisyotel.net>

●症状や支援について知りたいときは…

若年性認知症ハンドブック

若年性認知症と診断されたご本人やご家族に知っていただきたい、今後の『仕事』『経済面』『症状』『子ども』など適切なサービス等の情報がわかりやすくまとめたハンドブックです。以下のホームページからダウンロードできます。

○認知症介護情報ネットワーク研究報告書令和3年度若年性認知症ハンドブック（改訂5版）

https://www.dcnet.gr.jp/support/research/center/detail_395_center_2.php

出典：認知症介護研究・研修大府センター

65歳以上の相談窓口はP7へ

認知症の方への対応

●認知症の方への対応の心得

3つの「ない」

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない

介護者の声

「だめ」と言わないで！
頭ごなしに否定すると症状が
もっと悪くなる経験をしてきました。

—— 家族の方へ（介護されるみなさまへ） ——

- 頑張りすぎず、周囲の方の協力を得てください。
- 一人で抱え込まないで、相談できる人を持ってください。
介護者のつどいや福祉カフェ（サロン）などをご利用ください。
- 介護保険などの、いろいろなサービスを上手に利用してください。

—— 周囲のみなさまへ ——

本人や家族の立場に寄り添いましょう。「大変ですね、お互いさまですね」「なにかお手伝いすることがありますか」などの声をかけ合ってください。

●具体的な対応ポイント

1. まずは見守る

さりげなく様子を見守り、必要に応じて声をかけます。

2. 余裕をもって対応する

落ち着いて自然な笑顔で対応しましょう。

3. 声をかけるときは一人で

なるべく一人で声をかけます。複数で取り囲むと恐怖心をあおります。

4. 背後から声をかけない

ゆっくり近づき、本人の視野に入ったところで声をかけます。背後からの声かけや唐突な声かけは相手を混乱させてしまいます。

5. やさしい口調で

目の高さを合わせ、やさしい口調で話すように心がけましょう。

6. おだやかにはっきりした口調で

高齢者は耳が聞こえにくい人もいます。ゆっくり、はっきり話すようにしましょう。

7. 会話は本人のペースに合わせて

認知症になると同時に複数の問いに答えるのは苦手になります。ひとことずつ短く簡潔に伝え、相手の反応を待ってから次の言葉をかけましょう。



～場面別 こんなとき、どうしたらいい？～

1. ご飯を食べていないと何度も言う

◆ポイント◆

食事をしたにもかかわらず「食べていない」と訴えたとき、「さっき食べたでしょ！」と感情的になるとかえって不信感をいだきます。「今、作っているから待っててね」などと言って、「食べていない」気持ちをそらして、忘れてもらうのも一つの手段です。

2. 日付や曜日を間違える

◆ポイント◆

本人は、今がいつなのか不安な気持ちがあるかもしれません。間違いを指摘すると本人の自尊心などを傷つけてしまいます。カレンダーと一緒に見るなど気持ちに寄り添いましょう。また、用事がある日は、目で見えてわかるようにメモに書いて残しておくのもいいでしょう。

3. 料理など今までできていたことができなくなった

◆ポイント◆

そばで見守る。1 つずつの作業であればできることもあります。自分でできると自信にも繋がります。また、一緒に声をかけながらやってみるのもいいでしょう。

4. 財布がなくなったと言う

◆ポイント◆

「知らない」「またなくしたの！」などと否定せず、「それは大変ですね。困りましたね」と相手の気持ちに共感する言葉をかけましょう。本人と一緒に探したり、見つかったら「良かったですね」と一緒に喜ぶようにしましょう。



ご存知ですか？

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」

(2023年6月14日成立)

この法律は、**認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らす**ことができるよう、認知症施策を総合的かつ計画的に推進し、**認知症の人を含めた国民一人一人**がその個性と能力を十分に発揮し、お互いに人格と個性を尊重しつつ支え合いながら**共生社会を実現する**ことを目的としています。

本市においても、基本法に基づく基本計画が定められ、それに基づく認知症施策を進めていきます。

※出典：全国キャラバン・メイト連絡協議会「認知症を学びみんな考える」もとに作成

認知症の方への支援

●認知症サポーター(認知症の方の応援者)になろう!

認知症サポーターとは、特別なことをするわけではありません。

次の3つのことをお願いします。

- ①認知症について正しく知ること
- ②認知症の方を温かく見守ること
- ③自分のできる範囲で支援すること



■認知症サポーター養成講座

認知症についての知識を深め、認知症の方と家族を温かく見守ってくださる認知症サポーターを養成する認知症勉強会です。認知症キャラバン・メイトが講師となり講座を開催しています。5人以上の参加であれば、出前講座もいたします。受講された方には、認知症サポーターの証である「オレンジリング」をお渡しします。

【事務局：高齢福祉課（北館1階）】



犬を飼っており、オレンジリング or サポーターカードを持っているあなたへお願い「パトロール DOGS 事業」に参加してみませんか?

愛犬と一緒に地域の見守りを行ってくださる方を募集しています。

〈活動内容〉

- ・散歩中、気になる人を見かけたら、優しく声をかけるなど様子を伺い、必要であれば地域包括支援センター等に連絡（緊急時は救急や警察へ）をしてください。

〈登録条件〉

- ・清須市民であること
- ・認知症サポーター養成講座を受講したことがある
- ・愛犬が清須市に登録され、狂犬病予防注射をしていること

登録時、愛犬に「ボーン型ストラップ」をお渡しします



オレンジサポートチームが活動しています!

(認知症初期集中支援チーム)

●オレンジサポートチームってなあに?

複数の専門職が、認知症やその疑いのある方とその家族を支援し、必要な関係機関と連携をとりながら住みなれた地域で自立して生活できるようにサポートします!

【対象者】 40歳以上で、ご自宅で生活しており、認知症の疑い若しくは認知症で医療や介護を受けていない、または中断している方

○オレンジサポートチームについては清須市地域包括支援センター(P15)にご相談ください。

認知症チェック

認知症かな?と感じたら...

認知症チェック表

「なにかおかしいな?」と感じたら、以下の項目をチェックし、該当する項目に○をつけましょう。一年前の状態と現在の状態を比べてみるのも良いでしょう。

1	同じことを言ったり聞いたりする。	
2	物の名前が出てこなくなった。	
3	置き忘れやしまい忘れが目立ってきた。	
4	以前はあった関心や興味が失われた。	
5	だらしなくなった。	
6	日課をしなくなった。	
7	時間や場所の感覚が不確かになった。	
8	慣れた所で道に迷った。	
9	財布などを盗まれたという。	
10	ささいなことで怒りっぽくなった。	
11	蛇口、ガス栓の締め忘れ、火の用心ができなくなった。	
12	複雑なテレビドラマが理解できない。	
13	夜中に急に起きだして騒いだ。	

(引用：国立長寿医療研究センター)

●3項目以上に心当たりがある → 専門医に相談を(P8へ)

※このチェック表はあくまでも目安です。認知症の診断をするものではありません。

認知症簡易チェックサイト

パソコンや携帯電話で簡単にできる「認知症簡易チェックサイト」です。「これって認知症?」身近な人の状態をチェックできます。「わたしも認知症?」自分の状態をチェックできます。



軽度認知障害 (MCI) とは?

正常老化過程で予想されるよりも認知機能が低下しているが、認知症とはいえない状態です。記憶障害など軽度の認知機能障害が認められますが、日常生活に支障をきたすほどではないため認知症予備軍とも呼ばれます。しかし、必ずしも認知症に移行するとは限りません。この段階で、脳の活性化や生活習慣の改善に取り組むことが進行の予防に繋がります。

相談窓口

相談したい時は…

●相談窓口 お気軽にご相談ください

清須市地域包括支援センター ☎052-409-9010

清須市地域包括支援センターさわやか ☎052-509-2270

※詳しい担当地区は裏表紙(P15)をご覧ください。

済衆館病院「認知症疾患医療センター」専門医療相談 ☎0568-21-0811
※ホームページからメール相談可

認知症の診断や認知症の周辺症状および身体合併症の急性期対応、専門医療相談などを実施しています。

相談・受診の流れ

【認知症疾患医療センター
専門医療相談】
☎0568-21-0811
(受付時間)
月～金 9:00～16:30
まずは電話をしてください

受診(予約制)
・鑑別診断
・治療方針の決定
・通知、助言

入院加療
または
連携病院などへの紹介

地域の機関へ連携調整

早期発見・早期治療が大切

認知症かな?と思ったら、年齢のせいと考えて放置するのではなく、出来るだけ早い時期に、医療機関などに相談しましょう。

●早期発見が大切な理由

1. 治る認知症もある

認知症のような症状がでて、治る病気や一時的な症状の場合もあります。例えば正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫などは脳外科的処置でよくなる場合があります。甲状腺ホルモン異常なども内科的治療でよくなります。

2. 症状の進行を遅らせることができる

認知症の原因がアルツハイマー型認知症の場合は、薬によって認知症の進行を遅らせることができます。認知症の原因となる疾患を的確に診断することにより、適切な薬を選択することが可能となります。

3. 本人や家族に余裕が生まれる

認知症の原因を早く見つけることによって、たとえそれが現段階では治らない認知症であっても、本人やご家族・介護者の生活の質を高め、介護の負担を減らすことができます。障害が重くなる前に後見人を決めておく等の準備をしておけば認知症になっても自分が願う生き方を全うすることは可能です。

医療機関

受診したい時は…

●医療機関

どのような変化にいつ頃気づいたのか、気になる症状を書き出し、医師に伝えてください。※診察科は「もの忘れ外来」「こころのケア外来」「精神科」など様々で、紹介状や予約が必要なところもあります。あらかじめ電話をしてからお出かけください。(R6.5.10 現在)

■認知症疾患医療センター

県が指定する病院に設置され、認知症疾患に関する鑑別診断、地域における医療機関の紹介、認知症状の対応等について相談を行う専門医療機関です。

病 院 名	住 所	相談窓口電話
済衆館病院	北名古屋市鹿田西村前111	0568-21-0811
名鉄病院	名古屋市西区栄生二丁目26-11	052-551-2802
七宝病院	あま市七宝町下田矢倉下1432	052-443-7900
上林記念病院	一宮市奥町字下口西89-1	0586-80-8261
まつかげシニアホスピタル	名古屋市中川区打出二丁目347	052-352-4165
もりやま総合心療病院	名古屋市守山区町北11-50	052-795-3560
八事病院	名古屋市天白区塩釜口一丁目403	052-832-2181
愛知医科大学病院	長久手市岩作雁又1-1	0561-61-1878
あさひが丘ホスピタル	春日井市神屋町字地福1295-31	0568-88-0959
国立長寿医療研究センター	大府市森岡町七丁目430	0562-87-0827
トヨタ記念病院	豊田市平和町1-1	0565-24-7070
岡崎市民病院	岡崎市高隆寺町字五所合3-1	0564-66-7474
八千代病院	安城市住吉町二丁目2-7	0566-33-5556
豊橋こころのケアセンター	豊橋市三本木町字元三本木20-1	0532-45-1372
あいせい紀年病院	名古屋市南区曾池町4-28	052-821-7703
可知記念病院	豊橋市南大清水町字富士見456	0532-26-1101

■もの忘れ相談医 <<清須市内>>

「かかりつけ医認知症対応力向上研修」等を修了された医師のいる医療機関です。※もの忘れで受診される場合は、あらかじめ電話をしてからお出かけください。

病 院 名	住 所	相談窓口電話
☆五条川リハビリテーション病院	春日新堀33	052-401-7272
☆枇杷島古城こころクリニック	西枇杷島町泉72	052-505-8818
☆遠藤外科・整形外科	西枇杷島町古城2-4-5	052-502-8841
☆しんかわクリニック	土器野267	052-400-2711
石原医院	西枇杷島町辰新田71-1	052-501-5131
尾関医院	西枇杷島町橋詰72-1	052-501-5121
きとう医院	寺野美鈴75	052-400-7211
きよすクリニック	東外町49-1	052-409-8585
水田医院	一場屋舗1419	052-400-3059
三輪医院	須ヶ口19	052-400-2057
ゆたかクリニック	春日新堀52	052-408-0171

☆印は、認知症サポーター医のいる医療機関です。

認知症サポーター医とは、認知症の人の診療に習熟し、かかりつけ医への助言や支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携役となる医師です。

認知症の進行 (右に行くほど発症から経過し進行している状態)

認知症の進行	認知症の疑い	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
<p>本人の様子 (見られる症状や行動の例)</p> <p><small>*注意*</small> 認知症の原因となる疾患や身体状況などにより、経過は異なり、記載されている症状が必ず現れるとは限りません。今後を見通す参考にして下さい。</p>	<input type="checkbox"/> 物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類の作成を含め、日常生活は自立	<input type="checkbox"/> 買い物やお金の管理にミスが見られるが、日常生活はほぼ自立 <input type="checkbox"/> 新しいことがなかなか覚えられない <input type="checkbox"/> 料理の準備や手順を考えるなど、状況判断が必要な行為が難しくなる	<input type="checkbox"/> 服薬管理ができない <input type="checkbox"/> 電話の対応や訪問者の対応などが1人では難しい <input type="checkbox"/> たびたび道に迷う <input type="checkbox"/> 買い物やお金の管理などこれまでできてきたことにミスが目立つ	<input type="checkbox"/> 着替えや食事、トイレ等がうまくできない <input type="checkbox"/> しまい忘れをきっかけに妄想が起きる (財布などを盗られたと言う) <input type="checkbox"/> 自宅がわからなくなる <input type="checkbox"/> 時間・日時・季節がわからなくなる	<input type="checkbox"/> 言葉によるコミュニケーションが難しくなる <input type="checkbox"/> 声かけや介護を拒む <input type="checkbox"/> ほぼ寝たきりで意志の疎通が困難である <input type="checkbox"/> 飲み込みが悪くなり食事に介助が必要
<p>家族の気持ち (例)</p>	<p>年齢のせい。言えはできるはず。否定。</p>	<p>混乱。他人の前ではしっかり、身近な人に症状が強くなる。自分だけがなぜ。拒絶。相手のペースに振り回され、疲れきってしまう。</p>		<p>なるようにしかならない。身体介護が増。最後をどう看取るか。</p>	
<p>やっておきたい・決めておきたいこと</p> <p>[本人・ご家族へのお願い]</p>	<input type="checkbox"/> 認知症を予防するため、規則正しい生活を心がけたり、地域の交流の場などへのお出かけを増やしましょう。 <input type="checkbox"/> 認知症に関する正しい知識や理解を深めましょう。 <input type="checkbox"/> 今後の生活設計 (介護、金銭管理など) について考えてみましょう。	<p><input type="checkbox"/> 医療や介護について知りましょう 認知症を引き起こす病気により今後の経過や介護の方法が異なります。間違った対応は本人の症状を悪化させる原因となる危険性があります。周囲が適切に対応することにより、穏やかな経過をたどることも可能です。</p> <p><input type="checkbox"/> 失敗しないように手助けをしましょう 今まで出来たことが少しずつできなくなり失敗が増えてきます。「失敗をして自信を喪失した」「失敗をして怒られた」といった体験は認知症の症状を悪化させることもあるので、できるだけ失敗をさせない対応と、失敗の影響が最小限になるようにさりげないフォローをしましょう。</p> <p><input type="checkbox"/> 介護保険サービスなどを利用しましょう 必要に応じて介護保険サービスを利用して、がんばりすぎない介護をこころがけましょう。介護者があってこそその介護です。自分のことも大切にしましょう。また、認知症のことを隠さないで身近な人に伝え、理解者や協力者を作りましょう。同じ立場の人の集まり (家族会など) で、話を聞いたり自分の気持ちを話せる場を持つことも重要です。</p>			
<p>主なサービス</p>	<p>介護予防・役割支援 他者とのつながり支援</p>	<p>高齢福祉課が開催している一般介護予防教室、寿会、サロン、体操・認知症予防自主グループなど</p> <p>特技や趣味を生かして活躍できるシルバー人材センター、ボランティアなど</p> <p>福祉カフェ (P14)</p>			
	<p>生活支援</p>	<p>配食サービス、老人福祉車等購入補助、高齢者世帯エアコン購入補助など</p> <p>通所介護 (デイサービス)、訪問介護 (ホームヘルプサービス)</p> <p>通所介護 (デイサービス)、訪問介護 (ホームヘルプサービス)、小規模多機能型居宅介護</p> <p>非課税世帯の要介護3~5の寝たきり高齢者又は認知症高齢者へ家族介護用品購入 (オムツ等) の助成等</p> <p>訪問入浴介護</p>			
	<p>家族支援</p>	<p>地域包括支援センター総合相談、介護者のつどい・介護者リフレッシュ事業・介護講座 (地域包括支援センター)</p> <p>福祉カフェ (サロン) (P14)</p>			
	<p>権利を守る</p>	<p>日常生活自立支援事業</p> <p>成年後見制度</p>			
	<p>住まい</p>	<p>自宅、ケアハウス、サービス付き高齢者専用住宅、有料老人ホーム、養護老人ホームなど</p> <p>グループホーム、介護老人保健施設、介護老人福祉施設など</p>			

認知症高齢者等の事前登録制度

徘徊の可能性のある方の情報を事前に市へ登録をします。この情報は西枇杷島警察署や清須市地域包括支援センターと情報共有し、行方不明になった時に早期発見につなげます。

<対象者> 清須市内在住の認知症等により行方不明になる心配のある方

<申請時必要なもの> 徘徊の可能性のある方の顔写真・全身写真

【申し込み先：高齢福祉課】

認知症の方の居場所が分からなくなった場合、すぐに警察に連絡してください。迅速な対応により早期に発見されます。



西枇杷島警察署 ☎052-501-0110

清須市認知症高齢者等見守りシール交付事業

認知症やその疑いにより行方不明になってしまった高齢者等の早期発見や安全な保護を目的として交付されるシールです。発見者がシールに掲載された二次元コード（QRコード）を読み取ると、事前に登録された保護者のメールアドレスに連絡が入ります。

<対象者> 認知症高齢者等の事前登録をした方 ※事前登録については上記をご覧ください。

<費用> 初回登録時に無料でシールを30枚交付します。（追加購入は有料です）

<利用方法> 配布されたシールをアイロンで服や杖などに貼り付けます。

【申し込み先：高齢福祉課】



愛知県
清須市
Kiyosu City AA0000

認知症高齢者等個人賠償責任保険事業

認知症の人が日常生活における偶発的な事故により、他人にけがを負わせたり、他人の財物を壊したりしてご本人やご家族が法律上の損害賠償責任を負ってしまった場合に、その賠償金を保険で補償します。

保険料：無料

- <対象者>**
- ・清須市に居住し住民登録がある方・在宅で生活している方
 - ・認知症高齢者等の事前登録をした方
 - ・認知症高齢者等（若年性認知症又はその疑いである者を含む）
 - ・同様の保険に加入していない方

<申請時必要なもの> 認知症と診断されたことがわかる書類

【申し込み先：高齢福祉課】

清須市すぐメール配信事業

徘徊等により、行方不明になった際に、家族等の依頼により、市内に設置されている同報無線を利用し検索するとともに、このシステムに登録して頂いた方へ行方不明になった方の身体的特徴や服装等の情報を配信します。



PC・スマートフォン用



フィーチャーフォン(ガラケー)用

詳しい内容はお問合せください。

ひとり暮らし高齢者登録事業

65歳以上のひとり暮らしの高齢者の緊急連絡先等の情報を警察署・消防署・社会福祉協議会・民生委員・自治会役員と共有し、日常の見守り活動や緊急時に対応します。

【申し込み先：高齢福祉課】

救急医療情報キット配布事業

緊急時に必要な救急医療情報（氏名などの基本情報やかかりつけ病院等の医療情報、緊急連絡先など）を記入した用紙を専用のボトルに入れて冷蔵庫に保管します。万が一の場合、救急隊が病院に搬送する際にその情報を利用し迅速に対応します。

<対象者> ・65歳以上のひとり暮らし高齢者

【申し込み先：高齢福祉課】

緊急通報システム事業

ひとり暮らしの高齢者等の自宅に通報機器を設置し、緊急時に警備会社または受信センターに通報・連絡し、万一の安全を確保します。

負担金：月500円（前年の合計所得金額が200万円以下の世帯の方は無料）

<対象者>

- ・おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者
- ・高齢者世帯で緊急性のある病気がある方
- ・身体障害者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する身体障害者

【申し込み先：高齢福祉課】

配食サービス事業

毎週月曜日から金曜日（祝祭日・年末年始除く）の昼及び夕食を宅配することにより、食生活の改善、健康の保持、そして安否確認を行います。

負担金：1食あたりの単価から市負担金（190円）を控除した額

<対象者>

- ・身体等が虚弱等のため、調理するのに支障のある下記に該当する方
- ・おおむね65歳以上の単身世帯
- ・高齢者（65歳以上）の世帯
- ・身体障害者のみの世帯

【申し込み先：高齢福祉課】

民生委員・地域包括支援センター職員による訪問

民生委員が、ひとり暮らしの高齢者を対象に家庭訪問等を行い、見守りが必要な方に対して市のサービスなどをご案内します。また、地域包括支援センター職員が家族や地域住民から高齢者に関する相談を受け、介護保険サービス等必要な支援につなげます。

【問い合わせ先：高齢福祉課】

成年後見制度

認知症などで判断能力が不十分な高齢者が何らかの理由で不利益を被らないように保護・支援するための制度です。

【問い合わせ先：清須市成年後見支援センター】

☎ 052-409-3217

日常生活自立支援事業

認知症や精神障害等により日常生活において判断能力に不安のある方に対し相談に応じ、福祉サービスの利用手続きの援助や代行、日常的な金銭管理等を行います。

【問い合わせ先：社会福祉協議会】

☎ 052-401-0031

施設サービス・交流の場

●地域密着型サービス

地域密着型サービスとは、市が指定をした事業所において、市民だけが利用できるサービスです。

■グループホーム（認知症対応型共同生活介護）

認知症の方が家庭的な環境と地域住民との交流の下、住み慣れた環境での生活を継続できるようにすることを目指すものです。（要支援2以上の方が利用できます）

グループホーム 須ヶ口



東須ヶ口 50 番地 052-401-3939

グループホーム 須ヶ口では、利用者の皆さまが今まで過ごしてきた環境や趣味嗜好、生活パターンなどのライフスタイルを大切にすることをモットーとしており、今までと変わらない、安心して豊かな生活が送れるようサポートしております。

また、利用者の皆さまが「毎日を明るく健やか」に過ごすことができるように、お花見、節分、ひなまつり、クリスマス会など時季に合わせた行事を行っております。

グループホーム ソラスト清須



西田中本城 46 番地 052-400-3004

お互いがお互いを支えあいながら家庭的な雰囲気の中で生活しています。

『行ってきます！』『行ってらっしゃい』
『ただいま！』『おかえりなさい』
『やっと家に帰ってきた』

この言葉がグループホーム ソラスト清須を「自分の家」「自分の居場所」と思っていただけだと実感しています。

グループホーム ペガサス春日



春日新町 105 番地 052-408-5550

グループホーム ペガサス春日では、掃除や洗濯、簡単な調理を利用者様と職員と一緒に、ご自宅で生活されていた時のような暮らしが出来るよう支援させていただいています。

また、気の合う仲間同士のおしゃべりやレクリエーション的な活動、お祭りに参加、外出して四季折々の花見をするなど笑顔の絶えない日々を過ごしています。町内清掃に参加するなどの地域に根差した活動も行っております。

■小規模多機能型居宅介護

住み慣れた家・地域での生活を継続することを実現できるよう目指したサービスです。利用者の状態や必要に応じて、「通い」を中心に「泊まり」「訪問」を1つの施設で利用できます。

遊楽苑 西枇杷島



西枇杷島町弁天9番地 052-325-6501

『行って楽しい（通い）、来て嬉しい（訪問）、泊まって安心（泊まり）』『ただいま』と言える 遊楽苑 西枇杷島』を基本理念とし、3つのサービスを1つの施設で顔なじみのスタッフが対応させていただきます。

24時間365日ぬくもりの心を大切に「お世話型の介護」から「自立を支援する介護」へと再自立支援に取り組んでいます。

利用料、詳細なサービス内容については、各事業所へお尋ねください。また、市地域包括支援センターにて相談も行っています。

●『福祉カフェ』をご利用ください

お茶を飲みながら、施設職員・介護支援専門員（ケアマネジャー）などとお話ししながら認知症に関することや在宅介護の悩みなど、お気軽に相談ください。
地域の皆さまの憩いの場としてもご利用ください。

家族介護者交流カフェ & オレンジカフェ



家族介護者交流カフェは介護者の方がリフレッシュしていただける場、オレンジカフェは認知症のご本人とご家族が集う場である認知症カフェとして開催しています。

日頃の介護で悩んでいることを相談でき、皆さんのお話の中から介護のヒントをもらうことができるかもしれません。コーヒーなどを飲みながら気楽におしゃべりしませんか？ボランティアとして認知症キャラバン・メイト、サポーター、介護経験者の方のご参加もお待ちしています。

清須市地域包括支援センター 052-409-9010
清須市地域包括支援センター さわか 052-509-2270
開催日時及び会場は市の広報をご確認ください。

清洲の里 福祉サロン「かぼちゃカフェ」



廻間堂畑 1 番地 052-401-7007
毎月第3火曜日 10時～11時30分

福祉サロン「かぼちゃカフェ」では毎月第3火曜日の午前中に、施設内の喫茶スペースを地域の方々と繋がりができる場所、「ほっと」できる時間として開放しています。

介護の専門職などによる介護相談だけでなく、講師に来てもらい、介護や認知症の勉強会を行ったり、自宅で気軽にできる運動や楽しいダンスなど様々な催しを準備しています。最後はハーモニカ演奏に乗せてみんなで元気に大合唱！！

自宅から外に出る機会が少ない方や福祉サロンに興味のある方、お気軽にご連絡ください。

ペガサス春日 福祉カフェ「なごみ」



春日新町 105 番地 052-408-5550

福祉カフェ「なごみ」では、施設内の喫茶コーナーをご家族や地域の方々に開放しています。

介護の専門職である施設職員（介護福祉士、生活相談員、介護支援専門員など）が、家族で介護をしておられる方々の悩みをお聞きして、解決への手がかりを一緒に模索したり、介護の技術をお伝えしていきます。

適宜開催をしていますので、参加を希望される方は、ぜひお問い合わせください。

上記の福祉カフェ（サロン）では、清須市高齢福祉課や地域包括支援センターと協働し、地域福祉の促進に貢献できるイベントを開催しています。こうした活動を通して、地域福祉の拠点を担えるよう取り組んでいます。